

第 15 期 事業報告

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

I. 事業内容

「スポーツ、教育の振興に関する事業を行い、明るく豊かな国民生活の形成に寄与する」ことを目的として、「スポーツ・教育関連施設の設置、運営」、「スポーツ・教育等合宿の受入れ」「スポーツ交流プロジェクトの推進」、「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。

II. 当期事業の概況

事業計画及び収支予算、設備投資（NSP:那須スポーツパーク 戸田:戸田艇庫 略称）

【利用者数】

(単位:人)		2023年度 実績	2024年度 計画		2024年度実績			
					前年実績比	増減	計画比	増減
那須 スポーツ パーク	宿泊	13,630	16,300	15,094	110.7%	+1,464	92.6%	-1,206
	日帰り	27,454	33,000	25,262	92.0%	-2,192	76.6%	-7,738
	合計	41,084	49,300	40,356	98.2%	-728	81.9%	-8,944
戸田艇庫	宿泊	3,170	3,320	3,247	102.4%	+77	97.8%	-73
	日帰り	2,482	2,420	1,990	80.2%	-492	82.2%	-430
	合計	5,652	5,740	5,237	92.7%	-415	91.2%	-503
合計	宿泊	16,800	19,620	18,341	109.2%	+1,541	93.5%	-1,279
	日帰り	29,936	35,420	27,252	91.0%	-2,684	76.9%	-8,168
	合計	46,736	55,040	45,593	97.6%	-1,143	82.8%	-9,447

1. スポーツ・教育関連施設の設置、運営及びスポーツ・教育等合宿の受入れ

(1)NSP

2024 年 4 月にシングルユース出来ないことを理由に延べ 900 人規模の企業研修利用が無くなりましたが、サッカーやテニス団体、吹奏楽部や大学生ゼミ合宿、地方公務員の研修利用等が増え、合宿・研修利用は前年実績比で+993 人となりました。

サッカー競技の大会利用やテニス競技の個人利用等を合わせた宿泊利用合計は 15,094 人(前年実績比 110.7% +1,464 人 計画比 92.6% ▲1,206 人)となりました。

(2)戸田

第 15 期も神奈川県私立高校ボート部の練習拠点として延べ 1,000 人以上に宿泊利用いただき、貸艇・オール利用にも繋がりました。その他、全国の高校・大学ボート部を中心に合宿や大会参加拠点として利用され、前年の過去最高宿泊利用者数を更新しました。(3,247 人 前年実績比 102.4% +77 人 計画比 97.8% ▲73 人)。

(3)全体

NSP は小学生から高齢者にいたる幅広い層の利用者にスポーツ合宿や競技大会、就労・農村体験や教育合宿等で利用いただきました。戸田はボート競技を行う学生や社会人に練習・合宿・大会参加拠点として利用され、両施設合計で宿泊利用者 18,341 人(前年実績比 109.2% +1,541 人)、日帰り利用者 27,252 人(前年実績比 91.0% ▲2,684 人)となりましたが、いずれも事業計画には届きませんでした。

2. スポーツ交流プロジェクト

スポーツを通じた青少年の育成、高齢者の健康増進、障がい者の社会参加、地域社会との交流を目的とする「スポーツ交流プロジェクト」を推進しました。

(1)スポーツ競技会・講習会・体験会の開催

①高齢者スポーツの振興や健康増進を目的とする NSP 主催のグラウンド・ゴルフ大会には 栃木県内外から 1,000 人を超える高齢者の方々に参加いただきました。

②2025 年 2 月に Jリーグ 3 部・栃木 SC を招き、NSP で地元大田原市の小学 4 年生以下の選手を対象に「栃木 SC サッカークリニック」を開催し、約 90 人が参加しました。

③戸田では 2025 年 3 月に東京海上日動社ボート部員及びボート部 OB がコーチとなり スペシャルオリンピックス日本・東京のアスリートを対象とした「ボート体験会」を開催しました。アスリートとそのファミリー 3 組・6 人に参加いただきました。

報告事項 1

(2)スポーツ関連ボランティア活動

①交流会等

「青少年の育成」や「地域社会との交流」を目的に、東京海上日動社のサッカー部は児童養護施設の児童・職員にサッカー教室と交流会(36 人参加)を実施し、バレーボール部は児童養護施設が開催した大会(30 人参加)で技術指導や運営に協力しました。バスケットボール部の活動地域内小学生との交流会参加やオーケストラ部定期演奏会(約 1,300 人来場)の募金活動等も支援しました。

②全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会

東京海上日動社が特別後援する同大会は夏季、春季ともに予選会、本大会が東京アクアティクスセンターで開催されました。

各予選会や本大会のボランティアを東京海上グループ会社から募集し、大会運営の支援を行いました。第15期は合計14人の社員がボランティアとして(各予選会・本大会3人~4人)参加しました。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

スポーツ・教育以外の NSP や戸田の利用を収益事業として推進しました。

(1)東京海上グループ社員、OB・OG 向け準保養施設としての役割

東京海上日動社やグループ各社が福利厚生代行契約を結ぶベネフィット・ワン経由で NSP 特別宿泊プランの宣伝・告知を行いましたが、社員の宿泊利用は減少傾向です(340 人 前年実績比▲99 人)。

(2)OTA※による NSP 宿泊プラン販売

2024 年 10 月より一般個人客向けに販路拡大を試行し、OTA で宿泊プランの販売を始めました。

OTA では宿泊予約の際、予約手続きとキャンセルを繰り返す傾向があり、フロント作業の負担増と素泊り利用の多さが課題です。一方で試行前に懸念された OTA で宿泊するお客様の施設利用に特段の問題は見られませんでした。

12 月~3 月の 4 ヶ月間で平日を中心に宿泊者数 23 人、約 40 万円の収入となりました。

※OTA:Online Travel Agent の頭文字の略。インターネット上で取引を行う旅行社のこと。

報告事項 1

【収支予算】

評価損益は除く (単位:円)		2023年度 実績	2024年度					
			予算	実績	前年 実績比	増減	予算比	増減
経常 収益	収益(収入) 合計	334,504,567	255,443,425	188,435,441	56.3%	-146,069,126	73.8%	-67,007,984
	事業収益(収入) 計	157,182,783	177,140,425	168,688,935	107.3%	11,506,152	95.2%	-8,451,490
	那須スポーツパーク	134,316,999	154,297,425	145,585,552	108.4%	11,268,553	94.4%	-8,711,873
	戸田艇庫	19,950,261	19,928,000	20,185,767	101.2%	235,506	101.3%	257,767
	スポーツ交流プロジェクト等	2,915,523	2,915,000	2,917,616	100.1%	2,093	100.1%	2,616
	運用収益(収入) 計	177,321,784	78,303,000	19,746,506	11.1%	-157,575,278	25.2%	-58,556,494
	特定金銭信託収益	156,219,085	55,600,000	-6,563,197	-	-162,782,282	-	-62,163,197
	その他(自主運用)	21,102,699	22,703,000	26,309,703	124.7%	5,207,004	115.9%	3,606,703
経常 費用	費用(支出) 合計	321,514,377	340,747,445	321,699,122	100.1%	184,745	94.4%	-19,048,323
	那須スポーツパーク	255,439,581	272,616,224	256,264,407	100.3%	824,826	94.0%	-16,351,817
	戸田艇庫	17,643,123	19,087,207	17,184,862	97.4%	-458,261	90.0%	-1,902,345
	本 部	48,431,673	49,044,014	48,249,853	99.6%	-181,820	98.4%	-794,161
経常 収支	経常収支 合計	12,990,190	-85,304,020	-133,263,681	-	-146,253,871	-	-47,959,661
	那須スポーツパーク	-121,122,582	-118,318,799	-110,678,855	-	10,443,727	-	7,639,944
	戸田艇庫	2,307,138	840,793	3,000,905	130.1%	693,767	356.9%	2,160,112
	本 部	131,805,634	32,173,986	-25,585,731	-	-157,391,365	-	-57,759,717
法人税等		726,700	346,200	221,400	30.5%	-505,300	64.0%	-124,800
評価損益等調整前経常損益		12,263,490	-85,650,220	-133,485,081	-	-145,748,571	-	-47,834,861
内、減価償却費		44,428,050	42,062,268	41,052,269	92.4%	-3,375,781	97.6%	-1,009,999
減価償却前損益		56,691,540	-43,587,952	-92,432,812	-	-149,124,352	-	-48,844,860

4. 経常収益

(1) 事業収益

- ①NSP はスポーツ・教育合宿を中心に宿泊利用者が増加し、建物施設使用料収入が大幅に増えました(前年実績比 109.2%、+470 万円)。
レストランメニュー変更による単価アップ策も奏功し、事業収益合計で 1 億 4,560 万円(前年実績比 108.4%、+1,130 万円)となりました。
- ②戸田の宿泊利用料は前年並みながら、大学・企業レガッタ開催増加に伴い貸艇料が大幅に増え(前年実績比 160.3%、+50 万円)、前年の過去最高額を超える運動施設使用料収入 760 万円(前年実績比 107.7% +50 万円)となりました。
- ③第 15 期のスポーツ交流プロジェクト収入は東京海上日動社からの寄付金でした。
東京海上グループ社員や部活動が実施した 10 回のスポーツ関連ボランティア活動の支援に活用しました。

(2) 運用収益(保有株の評価損益を除く)

特定金銭信託運用収益を 5,560 万円見込んでいましたが、トランプ政権の関税政策によるマーケットの混乱で株価は下落し、最終的に▲660 万円の運用実績となりました。その他自主運用は予算を上回る 2,630 万円の収益でしたが、運用収益合計では予算(7,830 万円)を大幅に下回る 1,970 万円となりました。

5. 経常費用

(1) NSP

- ①2024 年 4 月よりレストラン業務委託費を 50 万円/月削減し、メニューに応じて委託費の比率を変更した結果、食材費高騰の影響を受けながらも 900 万円(前年実績比+150 万円)の収益を確保しました。
- ②OTA※試行によるコンサル料支払いや宿泊利用者増加(前年実績比 110.7% +1,464 人)による送客手数料の増加はありましたが、委託費を 7,790 万円(前年実績 104.5% +330 万円 予算比 94.2% ▲480 万円)に抑えることができました。

※OTA: Online Travel Agent の頭文字の略。インターネット上で取引を行う旅行社のこと。

- ③2024 年 12 月末までは宿泊利用者増加(前年実績比+1,000 人)に伴う光熱水道費を日々の管理により前年実績比 98.6%に抑制しましたが、2025 年 1 月～3 月政府助成金停止により電気料金が高騰した結果、第 15 期の光熱水道費は 1,840 万円(前年実績比 105.2% +90 万円)となりました。

(2) 戸田

厨房内グリストラップ交換工事や男女浴室床下修繕、給排水管劣化による水漏れ工事等で不動産修繕費は増えました(160 万円 前年実績比 157.6%、+60 万円)が、閑散期の平日休館日を増やし管理人業務委託費を抑えた結果(905 万円 前年実績比▲40 万円)、経常費用合計は前年を下回る水準(1,720 万円 前年実績比▲50 万円)となりました。

報告事項 1

(3)本部

2024 年 10 月に開催した NSP 視察会や戸田建替えに向けた他艇庫視察に係る交通費がやや予算を上回りましたが、経常費用合計は 4,820 万円(前年実績比 99.6%、▲20 万円)に抑えることができました。

6. 経常収支

NSP の経常収支▲1 億 1,070 万円と特定金銭信託運用の▲660 万円を他の収益で埋めることができず、財団全体で予算(▲8,530 万円)を大幅に下回る▲1 億 3,330 万円の赤字となりました。

7. 減価償却前損益

キャッシュアウトさせないために収支均衡を目指してきた減価償却前損益は▲9,240 万円となり予算(▲4,360 万円)を下回る赤字幅です。

この結果第 16 期中に財団の運営資金は不足することが予想され、その際は第 14 期に特定資産から基本財産に振替えた 5 億円の一部を運営資金とします。

8. 設備投資

(単位:円)	2023年度 実績	2024年度			
		予算	実績	予算比	前年 実績比
NSP	4,004,000	16,600,000	11,859,728	71.4%	296.2%
戸 田	0	2,500,000	919,191	36.8%	-
本 部	1,893,375	190,000	0	0.0%	0.0%
合 計	5,897,375	19,290,000	12,778,919	66.2%	216.7%

(1)全体

財団全体で 1,280 万円(予算比 66.2%)の設備投資を行いました。

(2)NSP

高圧電線ケーブル交換(690 万円)や高圧変圧器交換(190 万円)、本館厨房用ガススチームコンベクション交換(150 万円)の他、PC4 台を買替(80 万円)しました。

(3)戸田

懸案だった保有エイト艇の買替について、明治大学の舵付エイト艇売却情報を入手し価格交渉の上購入しました(本体+改修 90 万円)。

報告事項 1

Ⅲ 庶務の概要（社名・団体名・役職略記、敬称略、順不同）

1. 役員に関する事項（2025年6月19日現在）

役名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	常勤 非常勤	当法人以外の現職・経歴
理事	隅 修三	2023.6.27 新任	理事長	無	非常勤	東京海上日動相談役
同上	古川雅晴	2023.6.27 重任	常務理事	有	常勤	元東京海上日動東東京支店長
同上	杉山武彦	2023.6.27 重任	区分無し	有	非常勤	一橋大学名誉教授
同上	岡松武司	2023.6.27 重任	同上	有	非常勤	スペシャルオリンピックス日本・東京会長
同上	功刀 浩	2023.6.27 重任	同上	有	非常勤	帝京大学医学部精神神経科学講座主任教授
同上	崎山裕司	2023.6.27 新任	同上	無	非常勤	東京海上日動専務
監事	富張嘉則	2023.6.27 重任	法令及び 定款に記載 された職務	有	非常勤	元東京海上経理部長（現・東京海上日動）
同上	中村 勇	2023.6.27 重任	同上	有	非常勤	静岡銀行社外監査役

理事長・常務理事を除き順不同

2. 評議員に関する事項（2025年6月19日現在）

役名	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	当法人以外の現職・経歴
評議員	永野 毅	2022.6.21 重任	評議員 会長	無	東京海上ホールディングス会長
同上	今野由梨	2022.6.21 重任	区分無し	有	ダイヤル・サービス社長
同上	東條和彦	2022.6.21 重任	同上	有	三菱商事顧問
同上	小室正紀	2022.6.21 重任	同上	有	慶應義塾大学経済学部名誉教授
同上	各務謙司	2022.6.21 新任	同上	有	カガミ建築計画代表
同上	高野紀元	2023.6.27 新任	同上	有	元在ドイツ特命全権大使
同上	高瀬英明	2023.6.27 新任	同上	無	三菱 UFJ 銀行専務
同上	北沢利文	2023.6.27 新任	同上	無	東京海上日動相談役
同上	中村篤志	2024.6.17 新任	同上	無	明治安田生命副社長
同上	守山 聡	2024.6.17 新任	同上	無	東京海上日動常務

3. 職員に関する事項（2025年6月19日現在）

職務	氏名	就職 年月日	担 当 事 務
職員	濱田勝博	2023.4.1	事務局長
同上	酒井浩一郎	2018.4.1	那須スポーツパーク支配人
同上	高橋秀典	2017.4.1	那須スポーツパーク副支配人

主な職員のみ記載

報告事項 1

4. 理事会に関する事項

開催月日	議 題	摘 要
2024 年 5 月 31 日	【決議事項】 (1) 「第 14 期(2023 年 4 月～2024 年 3 月)事業報告書及び決算書類」承認の件 (2) 「定時評議員会招集」承認の件 【報告事項】 (1) 第 14 期(2023 年 4 月～2024 年 3 月)活動概況	原案可決 原案可決
2025 年 3 月 17 日	【決議事項】 (1) 「2025 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資計画(案)」承認の件 (2) 「2025 年度金融資産運用方針(案)」承認の件 (3) 「2025 年度基本財産及び特定資産の設定(案)」承認の件 (4) 「基本財産処分(案)」承認の件 【報告事項】 (1) 2024 年度(第 15 期 2024 年 4 月～2025 年 3 月)活動概況 ① 事業計画 ②収支予算 ③設備投資 ④スポーツ交流プロジェクト ⑤ その他 次回定時理事会日程 等	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決

5. 評議員会に関する事項

開催月日	議 題	摘 要
2024 年 6 月 17 日	【決議事項】 (1) 「第 14 期(2023 年 4 月～2024 年 3 月)事業報告書、貸借対照表正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書、財産目録」承認の件 (2) 「第 15 期(2024 年 4 月～2025 年 3 月)基本財産処分」承認の件 (3) 「辞任に伴う評議員選任」承認の件 【報告事項】 (1) 第 14 期(2023 年 4 月～2024 年 3 月)活動概況 (2) 第 15 期(2024 年 4 月～2025 年 3 月)事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資計画 (3) 第 15 期(2024 年 4 月～2025 年 3 月)金融資産運用方針 (4) 第 15 期(2024 年 4 月～2025 年 3 月)基本財産及び特定資産の設定	原案可決 原案可決 原案可決

6. 許可、認可、承認、証明に関する事項

該当ありません。

7. 表彰に関する事項

該当ありません。

8. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。